

研究会報告

パターン形成、運動と統計研究会プログラム

(1988年6月13日受理)

於：基研 5月12日(木)～5月14日(土) (1988年)

1 2 日

- 1 横山悦郎^o、黒田登志雄(北大)：
結晶成長におけるパターン形成(雪の成長形のシュミレーション)
- 2 関本 謙(九大)：
等角字象を使った板状結晶成長の扱い
- 3 植田 毅、斉藤幸夫^o(慶大)：
格子気体模型による結晶形のシュミレーション
- 4 田中 敦^o、沢田康次(東北大)：
結晶成長における模枝発生機構
- 5 山本隆夫^o(群馬大)、阿久津泰弘(神奈川大)：
結晶表面のFacet端におけるUniversalなガラス曲率のとびと表面自由エネルギーの一般形
- 6 藤野 豊(東北大)：
Ag-Mg合金の逆位相長周期構造の形成過程
- 7 上羽牧夫^o(東北大)、斉藤幸夫(慶大)：
格子気体からの凝集体の成長
- 8 早川美德^o(東北大)、松下 貢(中央大)、沢田康次(東北大)：
蒸発を伴うクラスター凝集体の成長
- 9 長谷 隆(静岡大)：
DLA Fractal の crossoverと非平衡臨界現象
- 10 田口善弘(東北大)：
格子の運動の軌跡が決定論的である場合のDLA
- 11 本田勝也^o(名大)、松下 貢(中央大)：
Hidden Singularity, Internal Structure of Measure and New Conjectded Variables for Multifractal.
- 12 宮島佐介^o、田中友安(中部大)、P.Meakin (du Pont)：
二元高濃度コロイド中の凝集
- 13 折原 宏^o、長屋智之、石橋善弘(名大)：
クラクタルな界面の運動II(計算機シュミレーション)

1 3 日

- 14 鈴木増雄（東大）：
Dynamical Complexity の CAM理論
- 15 北原和夫^o（東工大）、安久正紘（茨城大）、寺門弘訓、齊藤伸行（東工大）：
視覚とイメージの幾何学
- 16 三池秀敏^o（山口大）、S.C.Müller and B.Hess (Max-Planck):
Oscillatory Deformations and Turbulent Behavior of Chemical Waves Induced by Oscillating Surface Flow in BZ-Reaction.
- 17 太田隆夫（お茶の水大）：
興奮場における局在パターン
- 18 大月俊也（福井大）：
一成分反応・拡散系における非平衡相転移
- 19 原田義文（福井大）：
多重露光ホログラフィー干渉法によるベナール対流速度場の可視化とヒステリシスの観測
- 20 伊達宗行（阪大）(50分):
マルテンサイトとフラクタル
- 21 富田延明^o、折原 宏、石橋善弘（名大）：
液晶法による強誘電体（TGS）分域の移序化過程の観察II
- 22 那須野悟^o、沢田康次（東北大）：
液晶系における defect turbulence.
- 23 西森 拓^o、貫井智宏（東工大）：
3次元複素場における Defect Dynamics
- 24 豊木博泰（山梨大）：
急冷されたTDGLモデルの早期過程
- 25 樽見和明（群馬大）：
あるモデル方程式のPattern選択性について
- 26 川合敏雄（慶大）、志田晃一郎（電通大）：
重力場でのパターン形成
- 27 川崎辰夫（京大）：
素材の多様性とパターン形成

1 4 日

- 28 川崎恭治 (九大) (50分) :
弾性歪みを考慮した析出過程について
- 29 榎本美久 (名大) (10分コメント) :
同上
- 30 弘津俊輔 (東工大) :
ゲルの膨潤に伴うパターンの形成とそのダイナミックス
- 31 小貫 明 (基研) :
ゲル表面及び不安定状態におけるパターン形成
- 32 古川 浩 (山口大) :
高分子系における相分離について
- 33 吉野茂雄 (名大) :
Brown 粒子の長距離相互作用
- 34 原 啓明^o、小幡常啓 (東北大) :
ランダムネットワークの空間的構造
- 35 早川尚男^o (九大)、山本 稔 (東洋情報サービス)、高安秀樹 (Yale大)
フラクタルポテンシャル中の異常拡散
- 36 武末真二 (基研) :
可逆セルオートマトンのパターンダイナミクス
- 37 郡司幸夫 (神大) :
自律系としての貝殻紋様形成系 --- 非同時反転オートマトンモデル